

システム&サービスビジネス

企業には効率化やコスト削減だけでなく、デジタル技術を活用した大胆かつスピーディーな変革が求められています。そこで日立はデジタルソリューション事業により、IoTやビッグデータ解析技術で、お客さまの課題解決を支援します。その屋台骨を支えるのがシステム&サービスビジネスです。



執行役専務
システム&サービスビジネス統括責任者
兼 ICT事業統括本部長

塩塚 啓一

■お客さまにベストなソリューションをお届けしたい

いま日立は、お客さまに最も近い場所でサービス開発を行う「フロント」と、ソリューションを迅速に開発・提供するための「プラットフォーム」、ストレージやサーバといったIT機器を提供する「プロダクト」の三階層で事業を展開しています。この三階層をつなぐ“接着剤”として、デジタル技術を活用してお客さまのビジネスを支援するのがシステム&サービスビジネスのミッションです。

例えばシステム&サービスビジネスは現在、全世界で約8万人の人財を保持しています。このリソースを統合的に管理・育成し、各フロントビジネスユニットに適したスキルを持ったSEを、組織の枠組みにとらわれずダイナミックに配置し、IT分野で培ったプロジェクトマネジメントの仕組みを電力・エネルギー、ヘルスケアといった領域に適用していくことが重要な役割の一つです。

また最近では、基幹システムに代表される従来型の既存システムに加え、IoTやAI、ビッグデータの技術を使ってビジネス価値を向上させるデジタルソリューションの適用といった潮流があります。そこで求められるのはOTとIT双方のスキルとバックボーンを持ち、既存システムとデジタルソ

リューションを柔軟に連携させる人財にはかなりません。私たちが育てているのは、現場にも精通したSEといったハイブリッドな人財であり、社内のみならず外部のパートナー企業とも連携しながら、経営課題を解決するベストなソリューションをお客さまと一緒に協創し、実システムに組み上げて提供する「お届け係」なのです。

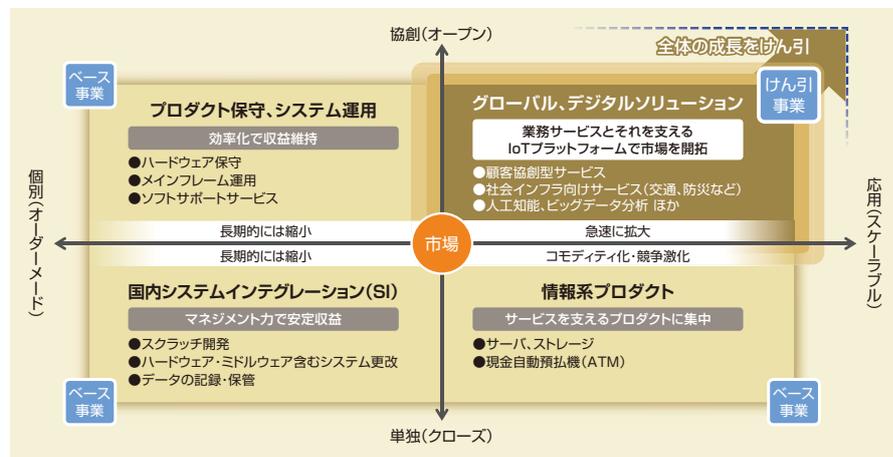
■お客さまのデジタル化とグローバル化をトータルに支援

お客さまとの協創による価値創出は、すでにいくつか出されています。株式会社ダイセルと一緒に作った画像解析システムで品質改善や生産性の向上に貢献した事例、富士重工株式会社とExアプローチを活用してタブレット端末を使った商談支

援システムを構築した事例など、お客さまとの協創がどんどん広がっています。

海外でも株式会社三菱東京UFJ銀行とシンガポールでブロックチェーン技術実証実験の開始など、グローバルな協創事例が増えています。こうした事例を増やし、活用することでお客さまのデジタル化とグローバル化をトータルに支援していくことが私たちの仕事です。

また、新しいビジネスに挑戦する際には大きな壁にぶつかることがよくあります。そのときにはまず日立にお声がけいただきたいと思っています。われわれはいくつもの失敗を経験しながら、最後に必ず成功へたどりついた実績とノウハウを持っています。その知見を生かして、お客さまとの協創を必ず成功に導いていきたいと考えています。



システム&サービスビジネスの基本方針

お問い合わせ先・情報提供サイト

(株)日立製作所 システム&サービスビジネス
<http://www.hitachi.co.jp/it/>